

レポートをしてみよう

Google Analyticsの準備が終わり、アクセス状況のデータが蓄積されたら、レポートをしてみましょう。

レポートを表示するには

Google Analyticsの準備が終わったら、アクセス状況のレポートを見ることができるようになります。アクセス数がそれほど多くないWebサイトでは、有為なデータが蓄積されるのに時間がかかりますが、少しずつデータが増えていくのを見るのも興味深いでしょう。

レポートを表示するには、「Analytics設定」画面で「ウェブサイトのプロファイル」にある「レポートビュー」をクリックしてください。レポートには、「サイトの利用状況」「ユーザーサマリー」「地図上のデータ表示」「トラフィックサマリー」「コンテンツサマリー」という、大きく分けて5つの項目が表示されます。それぞれの項目については、より詳細なデータを表示することが可能です。



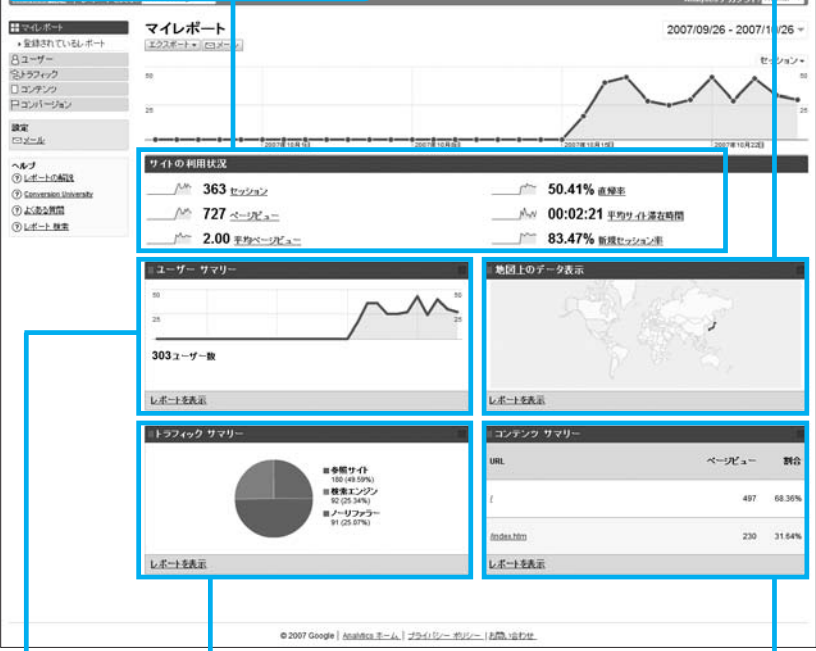
アクセス状況のレポートを表示するには、「Analytics設定」画面の「ウェブサイトのプロファイル」にある、「レポートビュー」をクリックします

サイトの利用状況

アクセス解析対象のWebサイトについて、セッション数やページビュー、直帰率などの利用状況を表示できます (→50ページ)

地図上のデータ表示

Webサイトにアクセスしてきたユーザーの分布を、地図や表で確認できます (→66ページ)



トラフィックサマリー

アクセス解析対象のWebサイトが、他のどんなWebサイトから参照されているか、どんな検索エンジン経由でサイトを訪れたか、を確認することが可能です (→68ページ)

ユーザーサマリー

サイトにアクセスしたユーザーが、どのようなWebブラウザやOSを使っているかなど、どんなユーザーがWebサイトに訪れているかを確認可能です (→60ページ)

コンテンツサマリー

ユーザーのページ遷移状況や、それぞれのコンテンツがどんなWebサイトから参照されているか、キーワードごとのページビューなどを確認することができます (→72ページ)